



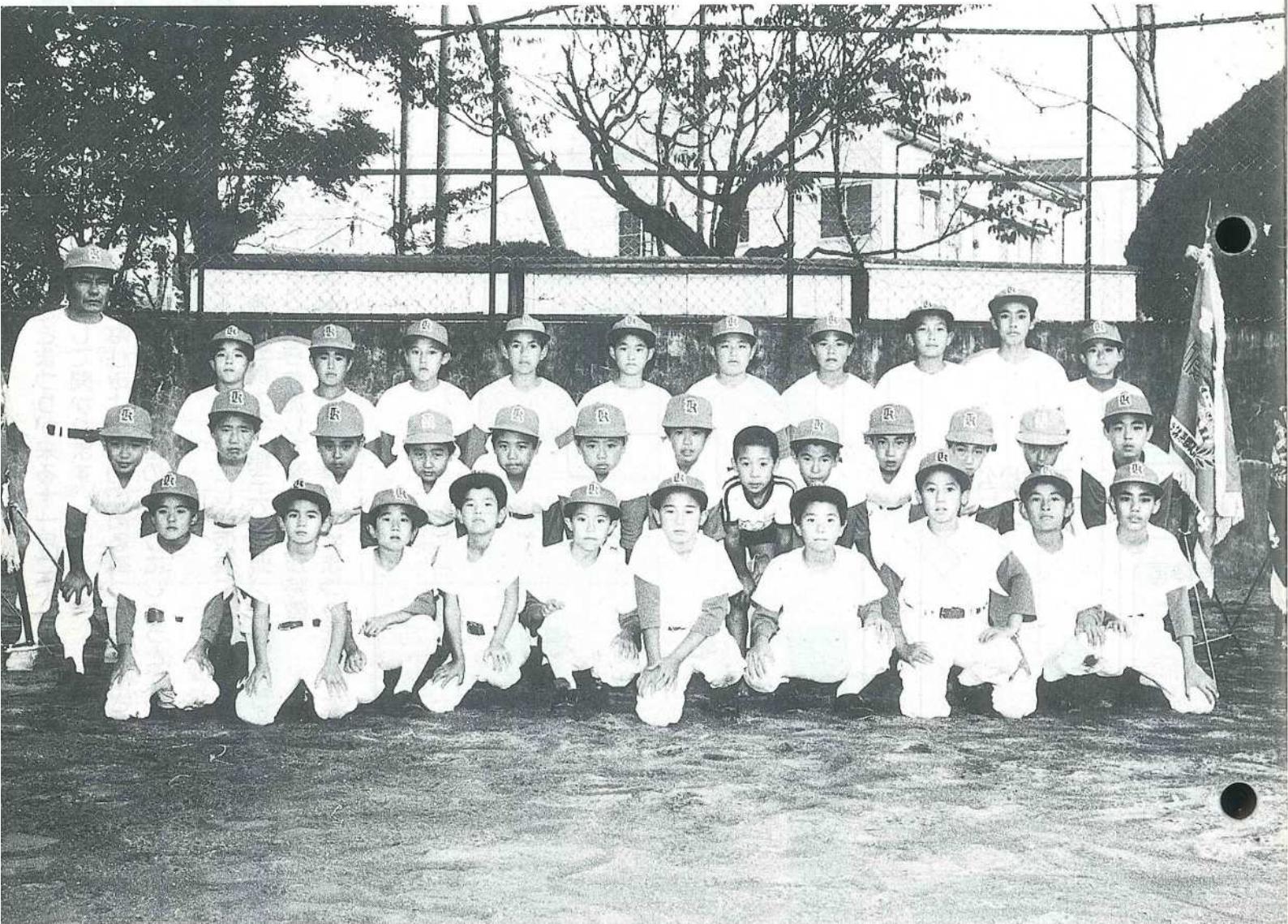
広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎ 52-1111 発行10月20日 No.272

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)
わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



平成4年
/10月号

スポーツ少年団

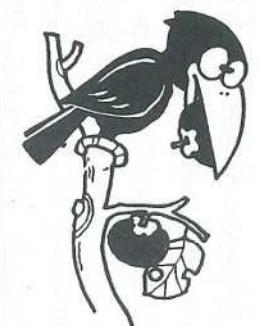
樺山野球

団員は現在34名。「子供らしい子供を育てる」をモットーに、スポーツ少年団本部長の上西和晴さん(47歳)が毎週月・水・土の3回、練習を指導しています。

交通安全 今日も笑顔でゆずりあい

広報みまた 10月号

おしゃせ



幼児や小中学生を持つお母さん、お父さんのための

会場 三股西小学校
日時 十一月八日(日) 午前九時
テーマ 家庭教育の根っこにあるもの

演題

「子供の送る

サインの受け止め方」

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業まつり

「新たな地場産品との
出会い」

講師

内田玲子先生

同時開催

全国伝統工芸品展

日程
十一月一日～三日

会場
都城市都北町
都城圏域地場産業
振興センター

会館十周年
地場産業ま

メインステージのプログラム

21日(土)

22日(日)

13:00	市中パレード
14:00	オープニングセレモニー 東高校マーチング
15:00	マジックショー
16:00	お笑いショー
17:00	パンプキンガールショー
18:00	ダンスパフォーマー
19:00	霧島水奏楽団&バレーパフォーマー
20:00	鬼神太鼓&シンセサイザー
	花火大会

文化発表コーナー
勤労者体育センターと中央公民館で書道や絵画、生け花、各種作品が展示されるほか、体育館では文化協会の舞踊発表が行われます。

地場産品・企業コーナー
商工会やJA、SAP、林業研究グループが、農畜産物や各種商品の展示販売をするほか、町内で操業している企業の紹介や製品の展示、販売が行われます。

文化発表コーナー
勤労者体育センターと中央公民館で書道や絵画、生け花、各種作品が展示されるほか、体育館では文化協会の舞踊発表が行われます。

お楽しみ抽選会
本県の交響楽団五十人による演奏会。クラシック音楽、軽音楽が楽しめます。

宮崎交響楽団演奏会
まつりのラストを飾る抽選会。豪華景品がたくさん用意されています。

グルーブ対抗カラオケ大会
職場の同僚や仲良しグループなど三人が一組になって、ソロ部門とデュエット部門で自慢のどを競い、二曲の総合点で順位が決定されます。また、プロ歌手の木村こうじさんがゲスト出演。

キャラクターショー
町内の郷土芸能のほか、安久町の鬼神太鼓。太鼓の音をバックに、鬼の面をつけた白装束の踊り手が勇壮な舞を披露します。また終了直後に、約六百発もの花火が打ち上げられ夜空を彩ります。

鬼神太鼓&シンセサイザー
初日のフィナーレを飾る末吉町の鬼神太鼓。太鼓の音をバックに、リーナがクラシックバレエを披露します。

ダンスパフォーマー
アマチュアのエアロビックスチーム3団体が出演。

パンプキンガールショー
女性一人がポップスショーやシンセサイザー演奏を繰り広げます。

ダンスパフォーマー
アマチュアのエアロビックスチーム3団体が出演。

ふるさとまつり

11月

21日
22日

第二回三股町ふるさとまつりが来る十一月二十一、二十二日の一日間、中央公民館前の広場を中心会場として開かれます。このまつりは、豊かな住みよい活力のある町づくりをめざして実施するもので、実行委員会では、好評だった昨年以上のまつりにしようと、多彩なイベントを企画しています。

特に、今年のまつりは、手作りみこしや仮装によるパレードをはじめ、グループ対抗のカラオケ大会、各種芸能大会、親子で作品づくりに挑戦する手作り村の設置など、ただ見るだけでなく、自ら参加して楽しむのが特徴です。

子供から高齢者まで町民みんなで参加し、まつりを盛り上げましょう。

特に、今年のまつりは、手作りみこしや仮装によるパレードをはじめ、グループ対抗のカラオケ大会、各種芸能大会、親子で作品づくりに挑戦する手作り村の設置など、ただ見るだけでなく、自ら参加して楽しむのが特徴です。

子供から高齢者まで町民みんなで参加し、まつりを盛り上げましょう。

マジックショー
都城奇術クラブの会員が、プロ級の腕前を披露します。

オーブニングに先立ち、幼稚園や保育園、各種団体、企業などが手作りみこしや仮装で三股小学校から会場までパレードします。

マインステージ
市中パレード

△受付期間
平成四年度三股町職員採用試験を次とおり行います。
受験される方は、早めに手続きしてください。

○試験の日時
日時 十一月二十九日(日)

△第一次試験
一月中旬に第一次試験合格者に対して行います。

○受験手続
受験申込書は役場総務課で交付しています。

△申込用紙等
△申込及び問合せ先
三股町役場総務課
三股町五本松一番地
五日(木)まで。
十月十九日(月)から十一月
五日(木)まで。

試験の種類、採用予定人員及び受験資格

試験の種類	採用予定人員	受験資格
建築	1名程度	昭和38年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた者で、二級建築士以上の免許を有する者
保健婦	2名程度	昭和36年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた者で、保健婦の免許を有する者又は第79回保健婦国家試験(平成5年春季実施)に合格し、当該免許を取得見込みの者
看護婦(士)	8名程度	昭和31年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた者で、看護婦(士)の免許を有する者又は第82回看護婦国家試験(平成5年春季実施)に合格し、当該免許を取得見込みの者
理学療法士	1名程度	昭和35年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた者で、理学療法士の免許を有する者又は第28回理学療法士国家試験(平成5年春季実施)に合格し、当該免許を取得見込みの者
臨床検査技師	1名程度	昭和35年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた者で、臨床検査技師の免許を有する者又は第39回臨床検査技師国家試験(平成5年春季実施)に合格し、当該免許を取得見込みの者

三股町職員採用試験

受験手続きはお早めに



可決成立した主な議案

三股町消防団員の家族に係る退職慰労金支給条例

生業を持ちながら消化活動や台風時の緊急出動、行方不明者の捜索などに活躍する消防団員。消防

第五回町議会定例会は九月十四日招集され、二十五日までの十二日間にわたって開かれました。定例会には、昨年度の公営企業会計決算や条例案、本年度の一般

会計補正予算案、人事案件など十数議案と諮問二件が提案され、それぞれ各常任委員会で慎重な審議が行われた後、最終日の本会議で原案どおり可決されました。

9月議会定例会の報告

団活動は、団員の奉仕の精神と家族の協力に支えられています。また、その活動が昼夜に及ぶため、団員本人はもとより、家族の負担は計り知れないものがあります。そこで、団員が退職した際、その在職年数に応じて家族にも慰労金を支給することになりました。

病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

高齢化社会に向けた体制づくりの一環として、町立病院に「理学療科」が新設されました。また、病院の経営面と院内の有効利用を図るために、結核病床が廃止されました。

かがやく瞳
—子育ての手引—

「三股づくり」について
あなたの
ユニークなアイデア
建設的なご提言を
お聞かせください。



あなたの声を町政に

ふれあい行政 モーニング・フォーラム

福永町長と語ろう

一、日 時 記
十一月十三日(金)
午前七時～八時
二、場 所
役場4階大会議室

町では、毎月一回「ふれあい行政モーニング・フォーラム」を開催しています。今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。

七年度までの四年間に長田峠の橋と歩道の整備事業や椎八重公園整備事業、轟木表川内線整備事業などを実施されることになります。総事業費は約五億四千万円が予定されています。

九月三十日付けで任期満了となる教育委員に、馬渡正春氏(67)と内村初美氏(69)が再任されました。

教育委員会委員に

馬渡正春氏

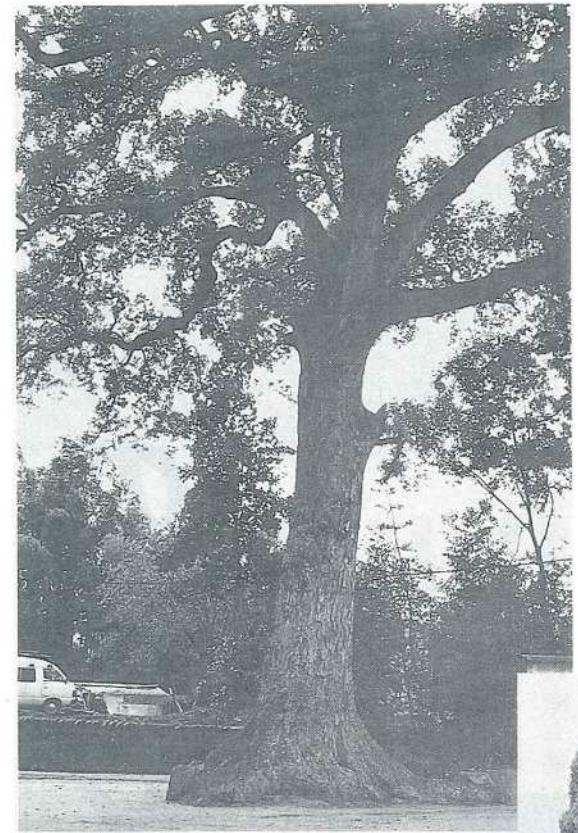
内村初美氏を再任

子どもの自立
幼児期には、「自立感」をしつかり育てることが、これから成長課程において最も大切です。しかし、子供がまだ未熟なところが多く、自分でいろいろなことにチャレンジしても思うようにいきません。反面、時には自分の思うようになることもあります。このような失敗体験と成功体験とのバランスが取れるような生活を送ることができると、子供は自立感を得て、意志力と思いやりをもつようになります。

自分で服のボタンをはめようと子供が苦労していると、「何をぐずぐずしているの!」とすぐ手を貸してしまう。これで大人が、子供の失敗しそうなことをあらかじめ読みとつてそれには、四苦八苦して成し遂げる経験を奪い取ってしまいます。

大人が、子供の失敗しそうなことを近づけたりする、自立心どころか逆に依頼心を育ててしまい、わがまま怒りっぽい行動をとるなど、ここで考えなければならぬなりがちです。

自立へのトレーニング
「さつさと靴下はいて。お母さんもう出かけるわよ」外出するたびに大騒動。こんなとき、上手に手を貸してあげてやつてはきかけている靴下の端を手で広げてやつてはいったわね」「はい、そうそう。わーうまくはいったわね」「はー、よくできただじゃないの」「ぐつとそこをひっぱって。そうそう、次は右足」「ほら、よくできただじゃないの」「子どもは、手を貸してやることによつて、かえつて自立へのトレー



高畠の一本杉

町内では一番大きな杉。枝張りの直径が約十一メートルもあり、遠くから見るとまるで杉林のよう。



三股町の巨木20選

強さの象徴として、また信仰の対象として人々に崇められてきた巨木。私たちはその大きさ、不滅の生命力に感嘆させられます。大地をつかんで離さないかのような根の広がり、人々を圧倒する幹の太さ、所々に突き出たこぶや古い傷は数世紀の試練を乗り越えてきた証であり、まるで遠い昔を現代の私たちに語っているかのようです。

しかし、この巨木もやがて寿命が尽き、あるいは台風や落雷などの天災により倒れて、いつかは消えてなくなる運命にあります。そこで、現存する巨木を顕彰し、その姿を後世に遺すため日本の巨木100選、宮崎の巨木100選がまとめられています。

三股町でも、この全国・全県調査にあわせて町内の巨木調査を行い、次の巨木が報告されています。郷土の宝として大切に保護したいものです。

区分	樹種名	幹周(cm)	推定樹齢	所在地・所有者
樹林	スギ	446	不明	山王原・稻荷神社
	クスノキ	344	クスノキ	
	クスノキ	448	クスノキ	
	クスノキ	382	クスノキ	
樹林	クスノキ	330	不明	山王原・早馬公園
	イチヨウ	330	クスノキ	
単木	クスノキ	370	不明	谷青年の家
単木	イチイガシ	323	300年以上	大鷲巣・御年神社
	クスノキ	318	クスノキ	
単木	イチヨウ	320	不明	小鷲巣・公園
単木	スギ	466	不明	高畠・個人
単木	エノキ	351	不明	梶山・個人
樹林	スギ	340	不明	勝岡・かまど神社
	クスノキ	330	クスノキ	
	クスノキ	430	クスノキ	
	クスノキ	340	クスノキ	
単木	スギ	340	不明	勝岡・個人
単木	タブノキ	500	不明	塚原・公園
単木	ケヤキ	310	100~199年	山王原・三股小
単木	イチヨウ	320	不明	前田・個人

※勝岡のシイノキ(幹周5m)は平成3年の台風で倒壊したため除きました。



かまど神社の巨木群

勝岡のかまど神社は、杉やクスノキの巨木が生い茂り、参道を包みこんでいます。



前田のイチヨウ

町の木もあるイチヨウ。このイチヨウの木は国道269号線沿いにそびえ立っています。

稻荷神社のクスノキ

山王原の稻荷神社には、クスノキや杉、イチヨウなどの巨木が林立しています。





交通安全は他人事ではない、自分や家族の生命にかかる問題

—大鷲巣壮年部—

街頭キャンペーンを展開 交通安全協会三股支部

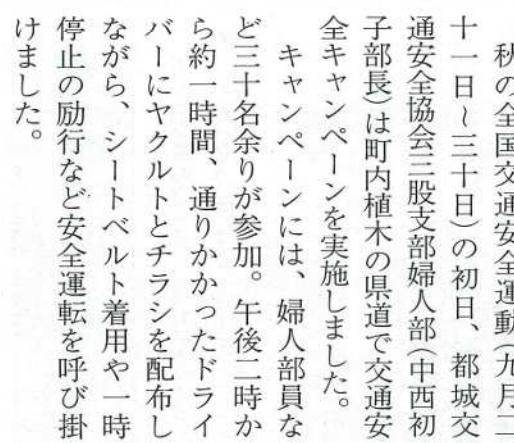
「カーブミラーをみがく」

と、大鷲巣壮年部（久保利秋部長）

は九月二十七日、カーブミラーみがきと点検を行いました。

交通事故防止活動の一環として定期的に実施しているもので、四十二名の会員全員が参加。集落内の見通しの悪いカーブやT字路に設置されているカーブミラーの向きや痛み具合を点検しながら、表

面をきれいにみがき上げました。同壮年部では、交通事故皆無を願つて、花を植えたプランターを各交差点に置いており、住民からとても喜ばれています。



秋の全国交通安全運動（九月二十一日～三十日）の初日、都城交

通安全協会三股支部婦人部（中西初

子部長）は町内植木の県道で交通安

全キヤンペーンを実施しました。

キャンペーンには、婦人部員な

ど三十名余りが参加。午後二時か

ら約一時間、通りかかったドライバーにヤクルトとチラシを配布し

ながら、シートベルト着用や一時停止の勧行など安全運転を呼び掛けました。

警察署長に署名簿を提出 「止まって確認」します

「止まって確認」実践運動

の署名簿提出式は九月三十日、役場大会議室に小中学生や自治公民館役員などの住民代表のほか、交通指導員や警察官など交通安全関係者七十名が出席して行われました。

町民の65パーセントが署名

署名運動は、町内で一時不停车や安全不確認による交通事故が多いことから、町交通安全対策協議会（福永昌徳会長）が今年九月から向こう一年間を「止まって確認」実践運動期間に指定、同運動のピアールと町民の協力を呼びかけるため実施したもの。



集まつた署名は全町民の約六十五パーセントに当たる一四、一七七人（一般一一、〇七八人、小中学生三、〇九九人）。

提出式では、まず自治公民館と小中学校から署名簿が提出された後、福永町長が一括して都城警察署長に提出し、「交通安全は町政の重点目標の一つ。止まつて確認を町民みんなで実践し、交通事故防止に努めたい」とあいさつ。川崎署長も「皆さんのが運動の成果がワースト順位の向上にも表れてます。今回の署名運動を契機に、更に交通安全の気運を高めて欲しい」とお話を述べました。

その日は土曜日でした。前日から「明日は仕事が終わったら飲みに行こう。」と上司から言わされました。なのに私は車で出勤しました。今考えるとこれが第一の過ちでした。

仕事が終わり、飲みに行くことになりました。それは会社から車で一時間ほどかかる所で、私の車で行きました。最初のうちは車で行つてのだからと思いましてあまり飲まなかつたのですが、途中からはその場の雰囲気で、結局、ビール大ジョッキ一杯を飲み、さらにもう一軒回りました。そして店を出たのは午前一時三十分くらいだったと思います。私の車の助手席には上司が座り、「今日は君の家でいいよ。」と言いました。しかし、そのこと上司を送つてしまえと思つたのです。その店から私の家までは三十分くらいですが、上司の家までは一時間以上はかかる距離でした。ここでタクシーを呼ばなければならぬのが、そして上司を送つて行つたのが第二の過ちでした。

二軒目の店で一時間以上眠つたから大丈夫だとその時は思つたのですが、今思えば、そんな判断をしたと自体が酔つていた証拠ではないかと思います。

私のマンションの前を通り過ぎ、上司の家の最寄り駅を通り過ぎ、もうあと五分も走れば到着したと思います。周りは住宅街で道幅もそれほど広くはありませんでした。左側には歩道がありました。時間は午前二時三十分ごろで、私の前を走っている単車以外に他の車両はありませんでした。その車両は突然左に寄せ停車しました。そこは煙で何もありません。私は、なぜこんな所に止まるのだろうと気にしてなくしていいのに、ルームミラーで後方に離れていく単車を見ていきました。そして視線を前方に戻した瞬間私は目を疑いました。ヘッドライトに照らし出された男

逃走してしまったのです。事故を起こした瞬間、私の頭の中は自分のことで一杯になってしまった。なぜなら、私は奥さんから愛され、生まれてくる子供はどうなるのだろうと。

非常に恥ずかしい行為をしてしまった私は、裁判で一年二月の判決を受け、当然職も失いました。飲酒運転で事故をしてしまいました。起こして会社はクビ、妻や生まれてくる子供はどうなるのだろうと。

しまったのです。この私が一生消えない悲しみを遺族の方に背負わせてしまつたのです。これくらいの報いは当然といえるかもしれません。そして、償いは償いとしてきちんと果していくねばなりません。遺族の方々と辛い思いをさせた私の家族の両方に對して、せん。そして、償いは償いとしてどうかも私は分かりませんでした。音も何も聞こえませんでした。ブレーキも踏めなかつた私は百メートルほど走つたのでしょうか。ようやく車を止め、ルームミラーで後方を見ました。

はつきりとは見えませんが、人が確かに人が倒れていました。次に私は第三の過ちを犯してしまつたのです。

はつきりとは見えませんが、人が確かに人が倒れていました。次に私は第三の過ちを犯してしまつたのです。音も何も聞こえませんでした。いや本当に衝突したのかどうかも私は分かりませんでした。音も何も聞こえませんでした。百メートルほど走つたのでしょうか。ようやく車を止め、ルームミラーで後方を見ました。

飲酒運転の果て

会社員 25歳



交通事故 第一当事者
三股町のワースト順位
八月末現在 五位

贖いの日々

